

地域懇談会の開催について

播磨灘北東部地域において検討している海域の物質循環健全化計画について、地元関係団体にその内容を説明するとともに、各地元関係団体が当地域で実施している環境活動内容を把握し今後の検討の参考とするために、地域懇談会を開催する。委員の皆様には地域懇談会の開催内容について、参加団体、議題内容を中心にご意見を頂きたい。

1 目的

当地域検討委員会における検討では、栄養塩類の偏在化が播磨灘北東部地域における問題として挙げられ、この問題の解決方法として港湾内と沿岸～沖合域の水交換の促進や事業場の栄養塩類の管理運転が当地域に適した対策として考えられている。これらの対策について、今後当地域で取り組みを進め、将来的に現地に適用していくためには、学識者、行政をはじめ漁業者団体や環境活動団体等多様な主体の協力が不可欠である。

そのため、当地域検討委員会で検討し明らかになった栄養塩類循環状況や循環バランス向上対策案について地元関係団体に対して説明を行い、地元関係団体の当事業の理解を深めるとともに事業の方向性についての意見を聴く。また、当地域検討委員会での検討も播磨灘北東部地域における一つの環境活動であるため、地元関係団体による他の活動状況を参考とし今後の検討を進めることとする。

2 開催内容案

2.1 開催時期

地域懇談会の開催は、平成 23 年 10 月頃を予定している。

2.2 開催場所

地元関係団体に多く出席頂く予定であるため、地域懇談会の開催場所は加古川市内とする。また、当地域で生じている課題・問題のイメージを明確化することを目的とした現地見学会を実施する予定である。



図 1 現地見学会の開催場所

2.3 参加団体

地域懇談会への参加団体は、地元漁業協同組合、地元関係企業、地元環境活動団体、地元自治体の関係部署、播磨灘北東部地域検討委員会委員の代表者等で、計 20 名程度を予定している。多様な団体が参加することが望ましいことから、選定については検討委員、環境省、兵庫県等と十分に相談し、恣意的な選定にならないように注意する。

2.4 議題

始めに現地見学会を実施し、現地見学会終了後に会議室へ移動し地域懇談会を開催する。地域懇談会の内容は専門的な内容にせず、多様な主体が理解しやすい内容とする。

- (1) 現地見学会
- (2) 海域の物質循環健全化計画播磨灘北東部地域検討業務について説明
- (3) 地元関係団体による活動報告
- (4) 意見交換会

2.5 資料

地域懇談会の資料としては、平成 22 年度の報告書内容と今年度の検討内容を参考に作成する。配付資料案は以下のとおりとする。

○ 海域の物質循環健全化計画播磨灘北東部地域検討について

<目次案>

- ・ 業務の背景
- ・ 播磨灘北東部地域の物質循環の情報整理結果
- ・ 播磨灘北東部海域の現地調査結果
- ・ 播磨灘北東部地域の問題事象
- ・ 栄養塩類循環バランス向上対策案

○ 森・川・海における物質循環と人との関わり（環境省作成のパンフレット）

3 地域懇談会開催結果の取りまとめ

3.1 取りまとめ内容

地域懇談会の際に出された助言等は地元関係者の重要且つ貴重な意見であるため、結果を整理し今後の検討のための材料とする。また、地域懇談会の際に出された要望に対する播磨灘地域 WG の対応についても取りまとめ、対応にあたっての課題、問題点を整理する。

3.2 取りまとめ結果報告

地域懇談会の開催結果については今年度中に開催する地域検討委員会で報告する。また、地域懇談会参加者から要望等があった場合は地域検討委員会委員と協議のうえで要望に対する回答をする。